

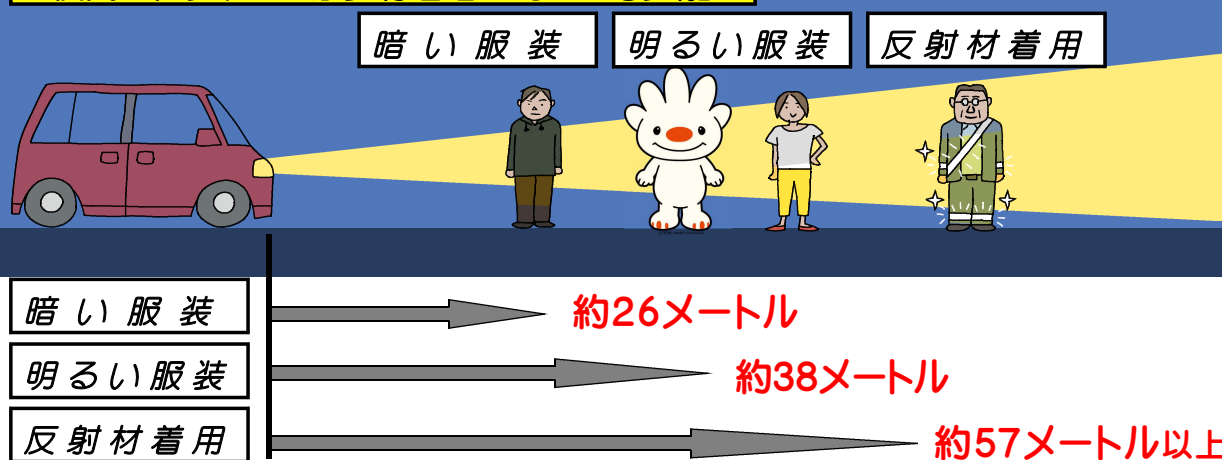
交通安全情報

令和 6 年 1 月
手稲警察署交通第一課
第 16 号

反射材を活用しましょう！

～車は早めのライト点灯、ハイビームの上手な活用を～

夜間のドライバーが歩行者を確認できる距離



車は、時速40キロで走ると、1秒間に約11メートル進みます。

このスピードで急ブレーキを踏むと止まるまでには16.8メートル(夏場乾燥時)必要です。(冬場はさらに制動距離が長くなります。)

夜間、ヘッドライトを下向きで走行していた場合、ドライバーから歩行者が見える距離は、「暗い服装だと約26メートル」「明るい服装だと約38メートル」「反射材着用だと約57メートル以上」と言われています。

歩行者事故防止のためにも、反射材を着用してドライバーに存在を知らせましょう。

車は早めのライト点灯、ハイビームのこまめな切り替えを

夜間は対向車や先行車がない場合は、ハイビームを活用しましょう。



ハイビーム使用時



【ハイビームの照射距離は約100メートル】

ロービーム使用時



【ロービームの照射距離は約40メートル】

- ・ 早めにライトを点けて、自分の車の存在を周囲に知らせましょう。
- ・ ハイビームを活用して、遠くにいる歩行者を早めに発見しましょう。
- ・ 速度を落として、慎重な運転を心がけましょう。

■ ハイビームとロービームの照射距離の差は約60メートル。ハイビームを活用することで、歩行者などを早期に発見できます。